

投資 指南

証券情報室
調査情報
森 裕恭



体向け事業が稼ぎ出しさせてきた。

ている。ふるさと納税 世の中の環境の変化のシステムは結果的に、を見越して、どこに各自自治体の業務全体の ジネスタチャンスがあるDX化につながっているのかを見つけ、そこに

チェンジホールディングス(HD)、3964月にプライム市場に(2)は地方自治体、企業移行した。

現在の収益の柱は、

すでに国内にあるトナリくとも地場産業、DXのノウハウを提供割と接点を持つている。増やすなど、さまざまな獲得してきた。

次にもう一つのセグメントであるNew ITトランスフォーメーション事業の売り上げ規模はさらに拡大すると思われる。決算発表は5月15日である。株価は決算内容をみて水準を切り上げるかみている。市場では、ふるさと納税関連というイメージが強いわけだが、今後はサイバーセキュリティ関連としての評価も加わってくるかみている。

チェンジHD

ふるさと納税ビジネス好調 サイバーセキュリティ事業拡大

サイバーセキュリティ事業は、子会社を、内容をみて水準を切り上げるかみている。市場では、ふるさと納税関連というイメージが強いわけだが、今後はサイバーセキュリティ関連としての評価も加わってくるかみている。

センチュア出身の神保氏は福留氏を中心となっており、2003年に創業して16年9月に当時のマザーズ市場に上場。その後18年9月に東証1選んだビジネスである。ふるさと納税ビジネスは、e-ITトランスフォーメーション事業、パブリック事業の二つから構成されている。M&Aを通じて業容を拡大し、また昨年12月にM&A仲介業のfundbookを完全子会社化した。これにより今期の売上は前年比1.5倍に増加した。また、ふるさと納税関連の売上も増加している。

